

Mi tercer sitio, Argentina

Mayo cordobesa

¡Hola! ¿Cómo anda? 日本の6月と言えば「梅雨」。蒸し暑い季節が始まりますね。先日、Buenos Aires の友人から「Acá hace frío. Yo te mando frío y vos mandame un poco de calor, sin humedad.」というメッセージをもらいました。昼夜も季節もちょうど逆。日本の正反対に位置するアルゼンチンと自分につながりがあることを、改めて面白いなあと感じています。

さて今回は、初めての Córdoba 滞在時に体験した、「今思い出してもクスッと笑ってしまうエピソード」をご紹介しますね。それでは、¡Vamos!

1. 家の前を cebolla が??

ホストファミリーの家に着いた日の夕方、気持ちの良いお天気だったので、家の前の小道に出て、夕暮れ時の穏やかな景色を眺めていました。と、そこを、(え?何で?!)と思うものが通ったのです。すぐ家に入り、Nena (ホストファミリーのお婆ちゃん) に、「今、家の前を cebolla が通った!」と話しました。しかし Nena は「Cebolla??」と怪訝な顔。

「え?セボーシャ?セボーシャが通ったって?」「そう、セボーシャ。男の人も一緒だった。」「何のこと??」「(あれ?アルゼンチンではセボーシャって言わないのかな。スペインのスペイン語かな?と思いながら)セボーシャは大きな動物で、色は茶色で・・・」「ああ!カバreshoね!」「あ、そうそう!カバresho、カバresho!」

私は、アルゼンチン第二の都市の、しかも静かな住宅街の中を馬が通ったことにびっくりしたと伝えたかったのです。(馬は確か、c から始まって lla か llo で終わっていたはず・・・あ、cebolla だ。)と思ったのですが、馬は caballo でした。

Nena にしてみれば、「今、家の前をタマネギが通った!」と言われたわけです。それはきょとんとしますよね。二人で大笑いしました。そして Nena は、「そうやって間違えながら覚えていくんだよ、Muy bien, muy bien!」と言ってくれました。



住宅街を通る”タマネギ”。
ごみを回収しているのだそうです。

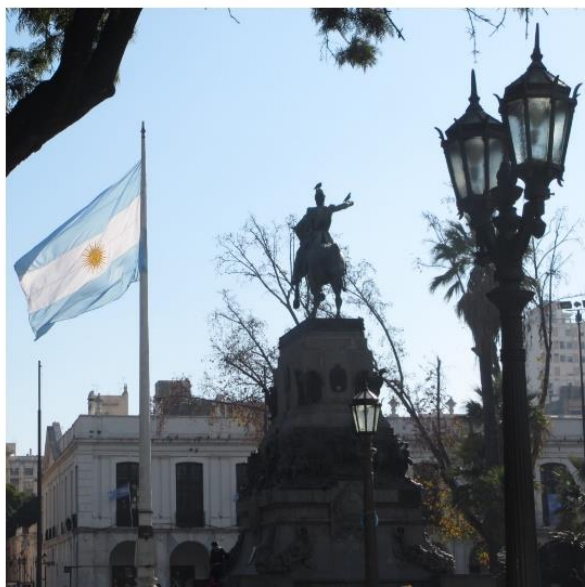
2. 丸顔なのに馬面（うまづら）??

こうして **cebolla** と **caballo** は頭の中へ完璧にインプットされた単語になったのですが、実は **caballo** には後日談があります。

Buenos Aires の友人と、共通の友人（男性）について話をしていたときのことです。「彼は **caballero** だから、みんなから人気があるのよ。とっても **caballero** なのよ。」と言われました。**caballero** はそのとき初めて聞いた単語ですが、何せ、この響きの単語は私にとって特別です！きっと **caballo** の派生語だと思い、「**caballero** って、顔が長いって意味？でも彼は丸顔だよねえ？」と聞いたところ・・・友人は、「**caballero** は、英語で言うと **gentleman** よー！」と、大笑いしながら教えてくれました。

これからも間違えることを恥ずかしいと思うことなく、どんどん話してたくさん間違えて、その度にしっかりと記憶に定着させながらスペイン語のスキルアップを頑張ります！

それでは、¡Hasta la próxima!



私の好きな Córdoba の景色
Plaza San Martín